

作成日：2020年6月30日

学校法人 東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校
2020年度 学校関係者評価委員会 議事録

日時 2020年6月30日（火） 15:00～17:00

会場 新東京歯科技工士学校／新東京歯科衛生士学校
東京都大田区大森北1-18-2 TEL:03-3763-2211

出席者 学校関係者評価委員会 出席者

区分	氏名	所属	役職
卒業生代表	渡部 みゆき	横須賀歯科医院	マネージャー
保護者代表	澤田 弥美	歯科衛生士科 I 部在校生の保護者	
高等学校代表	森 章	拓殖大学紅陵高等学校	校長
地域代表	中島 穰	公益社団法人 東京都大田区大森歯科医師会	会長
業界関係者	富田 基子	公益社団法人 東京都歯科衛生士会	顧問

【学園・学校関係出席者】

中村 道雄 学校法人 東京滋慶学園 理事長
小川 昭久 学校法人 東京滋慶学園 評議員
福原 達郎 新東京歯科技工士学校/新東京歯科衛生士学校 学校長
三觜 雅子 新東京歯科技工士学校/新東京歯科衛生士学校 副学校長
関口 崇之 新東京歯科技工士学校/新東京歯科衛生士学校 事務局長
今井 リカ 新東京歯科技工士学校/新東京歯科衛生士学校 事務局次長
西村 充剛 新東京歯科技工士学校/新東京歯科衛生士学校 キャリアセンター長
浜 千恵美 新東京歯科技工士学校/新東京歯科衛生士学校 学生サービスセンター
富野 浩子 新東京歯科技工士学校 学部長
大原 良子 新東京歯科衛生士学校 学科長（書記）

議題 <会議の概要>

(進行：事務局次長今井)

1. 開会挨拶
2. 評価委員のご紹介並びに学校側出席者の紹介
3. 本委員会の主旨説明
4. 2019年度の自己評価項目と評価内容の説明
5. 2020年度の重点目標と説明
6. 質疑応答・意見交換
7. 閉会挨拶

議事

1. 開会挨拶（学校長 福原）

【委員の方へお礼の挨拶】

昨年度の学校関係者評価委員の方からいただいた貴重なご意見を活かし、反省すべき事項は反省し、次年度へ活かす運営をしていく。

2. 評価委員のご紹介並びに学校側出席者の紹介（事務局次長 今井）

3. 本委員会の主旨説明（評議員 小川）

- ・学校関係者評価委員会の中では、皆様に多角的な評価をいただいている。
- ・委員会開催後、学校関係者評価委員からの評価を情報公開する。
- ・職業教育の水準を維持向上させていくことを目的に「運営・法令・教育・就職」など自己点検、自己評価を実施し、その結果を学校関係者評価委員の皆様からご意見・評価をいただきたい。

4. 2019年度の自己点検・自己評価 評価内容の説明

（事務局長 関口）※配布資料あり

- ・自己点検、自己評価（1次評価）

65項目の小項目に対して評価：5点満点評価

- ・学校関係者評価（2次評価者）

全11の大項目に対して評価：3点満点評価

評価点とともにご意見をご記入いただく。

【自己点検・自己評価の内容について】

1) 教育理念・目的・育成人材像

創業時から、3つの教育理念「実学教育」「人間教育」「国際教育」を建学の理念としている。

2) 学校運営

事業計画書、収支予算書

3) 教育活動

4) 教育成果

新東京歯科衛生士学校

就職内定率 100%（就職者 146名/希望者 146名）

国家試験合格率 96.8%（全国平均 94.3%）

5) 学生支援

学生相談センター、医療・健康のサポート・学生寮、一人暮らしサポート、卒業生サポート（同窓会活動）

6) 教育環境

2014年に移設、5年が経過した

校舎、設備（安全、防災等含む）

7) 学生の募集と受け入れ

WEB、SNS を駆使したりリアルタイムな学生の声を発信することに力を入れている。

LIVE 配信の学校説明会、LINE を使用した進路相談も行っている。

8) 学校の財務（財務情報の公開）

定期的にチェックを実施し、長期で予算計画し黒字経営で運用出来ている。

9) 法令等の遵守（学校情報の公開）

10) 社会貢献

11) 国際交流

5. 2020 年度の重点目標と説明（事務局次長 今井）

・学校の沿革

新東京歯科衛生士学校 1983 年開校

歯科衛生士科 I 部（昼間・3 年制）入学定員：80 名 総定員：240 名

歯科衛生士科 II 部（夜間・3 年制）入学定員：80 名 総定員：240 名

・2020 年度入学者数 173 人：専門学校全国 No.1 の入学者数となる

・2019 年度国家試験合格者数 157 人：専門学校全国 No.1

・2019 年度国家試験合格率：96.8%

→ 国家試験合格率は、教育として課題が残った。

滋慶学園グループは、全国に 78 校ある。

ミッション：職業人教育を通して社会に貢献する。

教育方針：「今日も笑顔であいさつを」標語として 78 校に掲げている。

新東京のミッション

・国際的な産官学連携教育でアジアの医療業界で活躍する歯科専門人材を育成。

・アジア諸国の歯科技工衛生分野におけるプラットフォームの役割を担う。

新東京の職業人教育

専門教育（職業に必要な専門的な知識・技術・態度）

+

キャリア教育（自ら笑顔で挨拶ができることを第一歩としている。）

2020 年重点事項（2019 年度から継続）

① 産官学連携教育の推進 業界からの学びを得る事が出来ている。

・ミュゼプラチナム 歯科衛生士科審美・矯正ゼミで実施。学生達が審美の内容を現場で学ぶことができる。

・歯科技工士学校・歯科衛生士学校 合同の特別授業
光学印象・インプラントセミナー

②授業コンテンツのオンデマンド化

- ・新東京スマホキャンパスでは、学生達の生活がスマートフォンを活用してスマートに送れるサービスを実施している。普段使用しているスマートフォンを用いていつでもどこでも学ぶことができるのが特徴。
- ・コロナウィルスの影響で学校登校が出来ない間も、新東京スマホキャンパスを活用して在校生の学びを止めることなく教育活動が出来た。特に、新入生とは、ほとんど顔を合わせることがないまま休校となってしまったため、学生達に少しでも学校に対する、安心感と帰属意識を持ってもらえるように4月から取り組み、内容に考慮した。5月は、歯科衛生士学校 72 本動画を配信した。4・5月では、新東京歯科技工士学校と合わせて 211 本の動画配信を行った。

課題は、紙で提出ではなく LINE（新東京のスマートコミュニケーションの一つ）に写真を添付し提出する方法をとった。

ペーパーレスアーカイブ：Moodle 機能使用。

掲示板、シラバス、コマシラバス、授業動画、小テスト、質問箱（担当教員より配信）など設置されている。

- 1) 学生がシラバスにそった授業内容が確認できる。
- 2) 学生の出席管理ができる。
- 3) 学生の授業の理解度が図れる。
- 4) 学生が教員とディスカッションできる仕組みがある。
- 5) 評価基準が明示されている。

上記 1)～5) の機能があることにより、オンデマンド配信で、双方型授業と同様の効果が得られるようにしている。

③留学生教育サポート強化

歯科技術予備教育科 留学生が多く在籍している。

留学生プロジェクトを立ち上げて、サポートを実施している。

<留学生入学者数>

歯科衛生士学校 2019 年度 10 名→2020 年度 9 名

新東京歯科技工士学校と合わせて、69 名の留学生が入学在籍している。

国別では、中国が一番多い。

また、パキスタン、ウズベキスタンからもご入学いただいている。

共通しているのは、日本の技術を学び母国に戻り活かしたいという思いが強い。

6. 質疑応答・意見交換

森委員)

高校でも夏から秋、コロナウィルスの第2波、第3波が来た際にWi-fi貸出の予算は？

評議員 小川)

2020年3月に手配済み。5ヵ月間の契約で44,000円/1台。
学生達にWi-fi環境のアンケートを取り、東京地区で必要な学生に対し学園で契約を200台弱貸出行っている。

森委員)

オンライン授業にすることで、クラス分毎に動画撮影の必要がなくなるため4・5月の人件費率が下がっているのではないかと？

評議員小川)

分野によって異なる。医療系約40%、他分野約37~38%。
その年度の特別授業の内容によっても異なる。

事務局次長 今井)

本校では、契約した内容で、講師の先生方にはクラス分の支払いをしている。
理由としては、双方向授業と同等の教育水準と効果を保つために各学生の小テスト、課題提出の採点、その進捗状況、質問に対してクラス分の人数を対応していただいている。対面授業と同様の支払いを行っている。

森委員)

滋慶学園の留学生の人数は？

評議員 小川)

東京地区だけでは、321名が入学。
学園全体では、約1,700名。
デザイン・エンターテインメント系学科（約1,000名）が多い。

森委員)

中途退学する学生の理由は何かと？

学科長 大原)

目的意識喪失による学習意欲の低下、精神疾患、実習不適応が大きな原因である。

2019年度は、退学者が増加。その結果を踏まえて、プレカレッジから初年次教育カリキュラムの再編と強化を行っている。

渡部委員)

当院でも、新東京の卒業生が5名勤務している。

就職したが、歯科衛生士の免許取得という目標をクリアしたことにより次は何を目指そうかと悩んでいる歯科衛生士もいる。職業人教育に具体的にどのように力を入れているのか？

事務局次長 今井)

両校共に、キャリア教育に力を入れている。

キャリア教育がこれからの教育の軸になると考えている。

その職業に必要な物事の考え方、知識、技術はもちろんだが、重要なのは、セルフマネジメント力や、チームワーク力である。

他者と協同して仕事を成し遂げようとするコミュニケーション力を必要不可欠として考えている。その一歩として挨拶を始めとした社会人基礎力の育成を強化していく。

今年度は、特に力を入れていきたいのが中途退学をできる限り減らし、目指した職種に送り出したい。

その職種で活躍できる人材になってもらいたいという願いを込めて教育を行っている。

今後、現実とのギャップがでてきた時に、課題が生まれてくる。

この課題を自己解決していけるように在学中に課題解決力を身につけ、生きる力を育む教育を行っていく。

澤田委員)

娘のオンライン授業を一部聴講し、とてもわかりやすい動画授だと感じている。

一つ心配な事は、座学中心の科目はオンライン授業で補えるかもしれないが臨床実習までに実習科目が補えるのかが不安である。

学科長 大原)

分散登校が始まり、実習中心に授業を行ない実技の部分を補っていくため臨床実習登院までに実習授業は、現状では、間に合う予定である。万が一、登院までに実習授業が補えない場合は週一登校の際に学内実習も並行することを検討している。

中島委員)

大田区災害時拠点として、新東京を施設登録していただいている。

コロナウィルスの影響が出ているが、災害時の協力体制について変更はないか。

キャリアセンター長 西村)

昨年の台風、コロナウィルスの影響もあり、今年度の定例会議を実施できていないのが現状である。

地域の信頼として、災害時医療の連携を出来る限り協力して行ってきたいと考えている。

富田委員)

東京で働く歯科衛生士の約 1/4 が新東京の卒業生ということで 2000 名近くいると思う。

4月にアンケートを WEB で歯科衛生士に依頼した結果、900名の回答があった。

歯科医師、歯科衛生士からクラスターは発生していない。

4月から進めているオンライン授業も、これまで通りすすめていただきたい。

副校長 三觜)

渡部委員のご質問に追加返答。昼間部では、卒業研究から歯科衛生士総合講座と科目名を変更し実施している。ケーススタディ(症例)を用いてグループワークを実施。その後、発表を行いクラス内で情報共有をしている。むし歯、歯周病、高齢者、外科など歯科衛生士の仕事を理解し興味を持ってもらえるような授業を行っている。

卒後につながるように授業を進めていきたいと考えている。

同窓会においては、卒後間もない卒業生が集まることでモチベーションアップをすることができる機会をつくりたい。同窓会も強化していきたい。

事務局次長 今井)

これからも教育力を高めて、社会に貢献できる人材輩出をしていきたい。

8. 閉会挨拶 (中村)

職員で自己点検・自己評価をした内容を報告させていただき貴重なご意見を皆様から貴重なご意見を賜うことができた。

特に、オンライン授業について専任教員だけではなく、大学の講師にも依頼し動画撮影を行った。どんな状況になろうとも絶対に学生には迷惑をかけてはいけないという方針である。業界が必要とする知識と技術を身につけること、国家試験に全員合格できるようにしていく。今後とも、先生方のご指導ご鞭撻をお願いしたい。

以上

評価内容及び委員会での意見を踏まえた改善方策について

今回の学校関係者評価結果ならびに委員会での意見については、理事会や学内の運営会議などの意思決定機関にフィードバックされ、翌年度における重点課題への反映及び、具体的な取り組みに落とし込んでいく。

とりわけ、2020年度の学校関係者評価並びに委員の意見を踏まえ、昨今のコロナ禍において実践してきた、オンラインを活用した遠隔授業のより一層の充実を図ることで、学びの多様化に対応し、より質の高い教育の実現を図る取り組みを実践する。
